

令和2年太宰府市議会第2回（6月）定例会

一般質問者【個人質問】及び質問項目

	質問者 (議席番号)	質問項目
4	木村 彰 人 (8)	<p>◆新型コロナウイルスが終息しない状況下の災害避難について 新型コロナウイルス感染症が終息しないまま、梅雨期の水害シーズンを迎えようとしている。 そこで、風水害及び地震等、自然災害の発生に伴う市民の災害避難に関して、2点伺う。 (1) 避難所における新型コロナウイルス感染症への対策と準備状況について (2) 市民が事前に準備すべきことや避難時の心構えなど、この度新たに必要となる情報の周知・徹底について</p> <p>◆年度当初の施政方針「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」について この度の新型コロナウイルス感染症への対応で、令和2年度当初予算を大幅に見直さざるを得なくなった。 そこで、行財政改革の観点から、3点伺う。 (1) 令和2年度当初予算の見直し・組み換えを、どのような基準・方針で推し進めるのか (2) 中止せざるを得ない事業・イベント等について、次年度につなげるフォローアップの施策について (3) この度の予算の見直し・組み換えを、コロナ終息後の行財政改革にどのように活かすのか</p>

【質問本文】

通告しておりました2件について質問させていただきます。

まずは、新型コロナウイルスが終息しない状況下の災害避難についてです。

これから梅雨期の水害シーズンを迎えますが、昨年までの災害避難と大きく異なるのは、避難所において新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組まなければならないということです。いわゆる「3つの密」を避ける対策を、各避難所で実施しなければなりません。既に他の自治体においては、感染症防止対策に配慮した災害避難訓練も始まっているようです。本市においても、早急に避難計画を見直し、「新たな災害避難のあり方」を策定する必要があると考えます。

そこで、1項目目、

①避難所における新型コロナウイルス感染症への対策と準備状況について、伺います。

市民の避難に際しては、着の身着のままの避難ということもあるでしょうが、やはり、日頃の準備と心構えが重要になるのではないのでしょうか。現在の「太宰府市ハザードマップ・災害への備え」に記載されていない、今回の感染症防止対策について、別途、市民にお知らせする必要があると考えます。

そこで、2項目目、

②市民が事前に準備すべきことや避難時の心構えなど、この度新たに必要となる情報の周知・徹底について、伺います。

昨年までの本市は、逃げ遅れることのない早めの避難に重点をおいて取り組んできましたが、新型コロナウイルスの感染を恐れるあまりに、避難を躊躇して逃げ遅れることがあってはなりません。行政と市民の奴方が「新たな災害避難のあり方」を身に着け、万全な体制で自然災害と新型コロナウイルス感染症を乗り越えてまいりましょう。

次に、年度当初の施政方針「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」についてです。

この度の新型コロナウイルス感染症への対応で、令和2年度当初予算の内容を大幅に見直さざるを得なくなりました。不要・不急の施策・事業を中止・削減することにより、喫緊の課題である感染症防止対策に、予算を組み替えねばなりません。

そこで、1項目目、

①令和2年度当初予算の見直し・組み換えを、どのような基準・方針で推し進めるのか、伺います。

そして本年度、中止される事業・イベントについてです。もちろん限られた予算の都合上、本年度は見送らざるを得ないことは理解します。しかしながら、自粛をはじめとする感染症防止対策に取り組む市民を応援する意味でも、中止される事業・イベントに代わる、何かしらの取り組みが必要なのではないでしょうか。

そこで、2項目目、

②中止せざるを得ない事業・イベント等に関して、次年度につなげるフォローアップの施策について、伺います。

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策の必要に迫られて、当初予算を見直さざるを得なくなりました。しかしながら、この予算の見直しは、楠田市長が推し進めておられる、行財政改革の取り組みと何ら矛盾するものではありません。むしろ、今までなかなか着手できなかった予算の削減や組み換えを、聖域なく大胆に実行できるチャンスと考えるべきではないでしょうか。

そこで3項目目、

③この度の予算の見直し・組み換えを、コロナ終息後の行財政改革にどのように活かすのか、伺います。

施政方針に掲げる「徹底した行革と超成長戦略で財政再建」ですが、今回の予算の見直し・組み換えは、必ずや本市の行財政における無駄の削減と、効率的な予算の執行につながるものと考えます。

以上、2件5項目について質問させていただきます。